

第2回 米沢養護学校分校整備準備委員会 【記録要旨】

- 1 日 時 令和2年11月20日（金） 14:00～15:00
2 場 所 置賜総合支庁西置賜地域振興局 5階講堂
3 協 議

米沢養護学校西置賜校（仮称）経営概要の骨子について

◆学校の教育目標

『自分から自分でする人間を育てる』

◆学校経営の重点

- (1) 全教職員が一丸となって取り組む「生徒を真ん中に置いた教育」の推進
- (2) 障がいの多様化に応じた一人一人への指導・支援の充実
- (3) 教職員がそれぞれの専門性を生かし、生徒に必要な資質・能力を協働して育成
- (4) 「学びの連続性」を意識した教育課程の編成
- (5) 「社会に開かれた教育課程」を追求し、保護者・地域・関係機関等から信頼される学校づくりの推進
- (6) 自立と社会参加に向けたキャリア教育の推進
- (7) 心と身体の教育及び情報教育の推進
- (8) 長井南中学校、長井工業高等学校、長井校、本校、分教室との連携と「交流及び共同学習」の充実
- (9) 西置賜地域における特別支援教育のセンター的機能の更なる充実

<主な意見等>

- ・教育目標の自立する力を育てることは、将来に関わる必要な力である。中学部と高等部が連携した学習活動を通して、自立する力の育成が図られるとよい。
- ・インクルーシブ教育の理念は長井南中学校でも目指しており、同じ校地に分校ができることは、学びの場としてよい環境になる。
- ・生徒にとって、最終的に社会的に自立することが大事になる。将来を見据えて進路指導を考えていく必要がある。
- ・就労・生活支援センターでは、一般就労をした卒業生について、分校開校後もこれまで同様、卒業後もサポートを円滑に進められるように連携、支援を充実していく。
- ・現在、豊田小学校、長井工業高校との交流及び共同学習は充実している。分校開校後も、継続できるように方法等の検討をしていく。
- ・長井南中学校との交流に計画的に取り組みたい。インクルーシブ教育を推進するため、様々な教育活動や施設の工夫を考えていく必要がある。